



BNY MELLON

日興メロン・グローバル・ カレンシー・オープン

追加型投信／内外／その他資産（通貨）／特殊型（絶対収益追求型）

運用報告書（全体版）

第9期

（決算日：2015年4月20日）

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「日興メロン・グローバル・カレンシー・オープン」は、2015年4月20日に第9期決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（通貨）／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	無期限
運用方針	投資信託証券を主要投資対象とし、中長期的に絶対収益を追求することを目標とします。
主要運用対象	主として、以下の投資信託の受益証券に投資し、日本円短期金利を上回る投資成果を目指します。 ・ケイマン籍の円建ての外国投資信託である「メロン・オフショア・ファンズー日興グローバル・カレンシー・ファンド（円建てファンド・オブ・ファンズ専用クラス）」（ファンド・オブ・ファンズのみを取得させることを目的とするものです。） ・国内の証券投資信託である「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」
組入制限	・ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とするもの以外の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%未満とします。 ・株式への直接投資は、行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年4月20日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、長期的に信託財産の成長を追求する観点から、分配を行わないことがあります。

●約款変更のお知らせ

2014年12月1日付にて下記の約款変更を行いました。

- ・運用報告書に記載すべき事項の提供に関する条項を新設。

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

ドキュメンテーション部

電話番号：03-6756-4600（代表）

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページ <http://www.bnymellonam.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配	み 金騰落	中 率	(3ヶ月円LIBOR)		
	円	円	%		%	%	百万円
5期(2011年4月20日)	8,063	0	1.4	10,278.65	0.2	98.4	168
6期(2012年4月20日)	7,750	0	△3.9	10,298.79	0.2	98.7	131
7期(2013年4月22日)	7,365	0	△5.0	10,318.03	0.2	97.8	108
8期(2014年4月21日)	6,819	0	△7.4	10,333.45	0.1	97.7	82
9期(2015年4月20日)	7,354	0	7.8	10,345.65	0.1	96.8	77

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 3ヶ月円LIBORは2006年5月8日を10,000として指数化しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

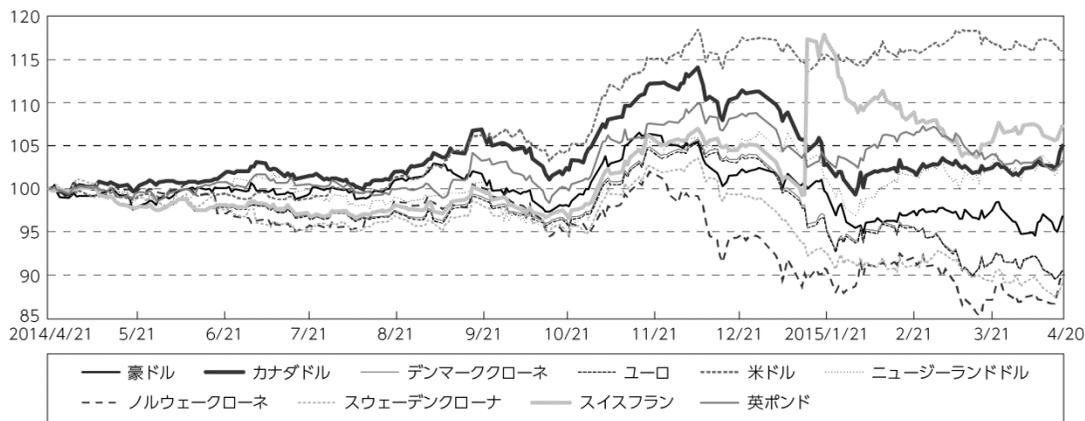
年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託 組入比率	託券率
	騰落	率	(3ヶ月円LIBOR)	騰落 率		
(期首) 2014年4月21日	円	%		%	%	%
	6,819	—	10,333.45	—	97.7	97.7
4月末	6,851	0.5	10,333.96	0.0	97.7	97.7
5月末	6,822	0.0	10,335.12	0.0	96.3	96.3
6月末	6,834	0.2	10,336.31	0.0	97.9	97.9
7月末	6,888	1.0	10,337.49	0.0	97.1	97.1
8月末	6,952	2.0	10,338.56	0.0	96.8	96.8
9月末	7,117	4.4	10,339.68	0.1	97.6	97.6
10月末	7,141	4.7	10,340.68	0.1	97.1	97.1
11月末	7,049	3.4	10,341.53	0.1	96.6	96.6
12月末	7,064	3.6	10,342.54	0.1	97.1	97.1
2015年1月末	7,293	7.0	10,343.47	0.1	96.4	96.4
2月末	7,291	6.9	10,344.29	0.1	98.5	98.5
3月末	7,394	8.4	10,345.17	0.1	98.5	98.5
(期末) 2015年4月20日	7,354	7.8	10,345.65	0.1	96.8	96.8

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 3ヶ月円LIBORは2006年5月8日を10,000として指数化しております。

■市場概況

主要通貨の推移（対円）（対象期間：2014年4月21日～2015年4月20日、期首を100として指数化）



当期における為替市場の動向は、当ファンドで投資を行った通貨の対円での動きを見ると、スウェーデンクローナは11.5%、ノルウェークローネは11.4%、ユーロは9.3%、豪ドルは2.9%の下落となりましたが、米ドルは15.9%、スイスフランは7.6%、カナダドルは4.7%、ニュージーランドドルは4.1%、英ポンドは3.3%の上昇となりました（TTMベース）。

期初102円台半ばからスタートした米ドルは、2014年8月中旬までは102円を挟みほぼ横ばいでの推移が続きましたが、その後は事前予想を上回る米国の経済指標の発表が相次いだことなどから米利上げ観測が高まり、米ドル高・円安が進行しました。10月に上値が重くなる場面が見られましたが、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の外国資産投資比率の引き上げや日銀の追加金融緩和の発表などを受けて円安ペースが加速し、12月上旬には2007年8月以来の高値となる121円台後半まで円安が進行しました。期末時点では、118円台後半となっています。

ユーロは141円台後半からスタートしましたが、欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和観測が高まったことや域内景気の低迷などを受けて、期初から10月中旬までは上値の重い展開が続きました。10月後半から12月上旬にかけては、日銀の金融緩和などを受けて米ドル同様に大きく円安が進行しましたが、その後はギリシャの政局不安やECBの量的金融緩和の導入決定などを受けて下落に転じ、結局、128円台半ばで期末を迎えました。

豪ドルについては、日銀の金融緩和決定後は他通貨同様に対円で上昇しましたが、商品市況の下落や中央銀行による予想外の政策金利引き下げなどがマイナス要因となり、前期末対比で下落しました。

当期における日米の短期金利の動向は、期中を通じて日米共に極めて低い水準での推移が続いたものの、金融政策の方向性の違いが出た結果となりました。1ヶ月円LIBORは、期初は0.10%でしたが、期を通じて低下基調が続き、期末時点では0.07%となりました。一方、1ヶ月米ドルLIBORは、期初は0.15%でしたが、期を通じて上昇基調が続き、期末時点では0.18%となりました。

■ 基準価額の推移



3ヶ月円LIBORは期初の基準価額を基準として指数化しております。

基準価額は、期首の6,819円から期末時点では7,354円となり、通期で535円の上昇、騰落率は7.8%となりました。一方でベンチマーク（3ヶ月円LIBOR）の騰落率は0.1%となりました。下記の要因によりベンチマークを上回る結果となりました。

■ 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・2014年8月から12月にかけて、米ドルが対円で上昇基調となる中、米ドルをロングとしていたこと。
- ・2014年12月から2015年1月にかけて、対主要通貨でユーロが下落する中、ユーロをショートとしていたこと。

(下落要因)

- ・2014年11月、10月末の日銀による追加金融緩和決定を受けて円全面安の展開となる中、ユーロや英ポンドをショートとしていたこと。

■ 運用概況

投資配分 (期末時点)

当ファンドの純資産総額に対し、「メロン・オフショア・ファンズ - 日興グローバル・カレンシー・ファンド (円建てファンド・オブ・ファンズ専用クラス)」が約95%、「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)」が約1%、その他現金等となっています。

通貨配分 (メロン・オフショア・ファンズ - 日興グローバル・カレンシー・ファンド)

当期の通貨配分を概観すると、期初最大のロングとしていたユーロは2014年5月以降ショートとしましたが、期末にかけてロングに変更しました。期初小幅ロングとしていた米ドルは、5月上旬に一旦ショートとしましたが、5月下旬以降はロングとし、期末時点では最大のロングとしています。日本円は、前半はショートでしたが、9月以降はロングとしました。豪ドルについては、期を通じて概ねショートを維持しました。

■収益分配

当期の収益分配については、見送りとさせていただきます。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期
	2014年4月22日～ 2015年4月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	83

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドにおいては、引き続きファンドの基本方針に則り、「メロン・オフショア・ファンズ - 日興グローバル・カレンシー・ファンド(円建てファンド・オブ・ファンズ専用クラス)」を高位に組み入れた運用を行います。

「メロン・オフショア・ファンズ - 日興グローバル・カレンシー・ファンド(円建てファンド・オブ・ファンズ専用クラス)」では、メロン・キャピタル・マネジメント・コーポレーションが、定量モデルを用いた運用を継続し、高格付けの米ドル建て債券などに対する投資に加え、通貨ロングショート戦略による運用を行います。通貨ロングショート戦略においては、相対的な各通貨の魅力度やリスクを加味して、機動的にポジションを取ってまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年4月22日～2015年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 68	% 0.969	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0.276)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.640)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	68	0.974	
期中の平均基準価額は、7,058円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年4月22日～2015年4月20日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国		千円		千円
メロン・オフショア・ファンズ-日興グローバル・カレンシー・ファンド	6,412,875	5,000	21,825,284	17,000

(注) 金額は受け渡し代金。

○ 利害関係人との取引状況等

(2014年4月22日～2015年4月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年4月20日現在)

投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	口	口	千円	%
メロン・オフショア・ファンズ-日興グローバル・カレンシー・ファンド	105,673,474	90,261,065	74,357	95.5
BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)	1,001,299	1,001,299	1,002	1.3
合 計	口 数 ・ 金 額	口 数	評 価 額	比 率
	銘柄数<比率>	2	<96.8%>	

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率欄は純資産に対する比率。

○投資信託財産の構成

(2015年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	75,359	96.2
コール・ローン等、その他	2,963	3.8
投資信託財産総額	78,322	100.0

(注) 単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	78,322,647
コール・ローン等	2,962,781
投資信託受益証券(評価額)	75,359,865
未収利息	1
(B) 負債	441,895
未払解約金	61,197
未払信託報酬	378,671
その他未払費用	2,027
(C) 純資産総額(A-B)	77,880,752
元本	105,907,642
次期繰越損益金	△ 28,026,890
(D) 受益権総口数	105,907,642口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,354円

(注1) 当ファンドの期首元本額は121,042,631円、期中追加設定元本額は13,837,988円、期中一部解約元本額は28,972,977円です。
(注2) また、1口当たり純資産額は0.7354円です。

○損益の状況 (2014年4月22日～2015年4月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	291
受取利息	291
(B) 有価証券売買損益	6,151,258
売買益	7,068,341
売買損	△ 917,083
(C) 信託報酬等	△ 770,999
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,380,550
(E) 前期繰越損益金	△25,337,046
(F) 追加信託差損益金	△ 8,070,394
(配当等相当額)	(386,530)
(売買損益相当額)	(△ 8,456,924)
(G) 計(D+E+F)	△28,026,890
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△28,026,890
追加信託差損益金	△ 8,070,394
(配当等相当額)	(386,530)
(売買損益相当額)	(△ 8,456,924)
分配準備積立金	500,961
繰越損益金	△20,457,457

(注1) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(291円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(386,530円)および分配準備積立金(500,670円)より分配対象収益は887,491円(10,000口当たり83円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金はありません。

<メロン・オフショア・ファンズー日興グローバル・カレンシー・ファンド（円建てファンド・オブ・ファンズ専用クラス）の状況>

主要投資対象であるメロン・オフショア・ファンズー日興グローバル・カレンシー・ファンド（円建てファンド・オブ・ファンズ専用クラス）の決算は、年1回（毎年3月末）です。本書作成時点で開示されている直近の計算期間末である2014年3月末時点までの状況をご報告申し上げます。なお、これらの内容は、当該ファンドの全てのクラスを含んだ内容です。

■費用の明細（2013年4月1日から2014年3月31日まで）

運用計算書および純資産変動計算書（監査済）

（2014年3月31日に終了した期間）

米ドル

収益	
債券にかかる利息	8,812.72
預金利息	142.26
収益合計	8,954.98
費用	
管理報酬	132,340.97
専門家費用	31,066.00
印刷および公告費	20,232.00
管理事務代行報酬	6,061.43
保管報酬	4,038.82
保護預り費用	1,153.23
受託報酬	972.39
取引手数料	210.00
その他の費用	43,595.34
費用合計	239,670.18
投資純損失	(230,715.20)
以下にかかる実現純損益	
為替先渡契約	877.43
外国為替	(554,542.13)
投資有価証券	10,038.55
当期実現純損失	(774,341.35)
以下にかかる未実現評価損益の純変動	
投資有価証券	(3,846.02)
為替先渡契約	(61,052.98)
運用による純資産の純減少	(839,240.35)
資本の変動	
受益証券発行手取額	20,951.72
受益証券買戻支払額	(1,494,302.26)
資本の変動、純額	(1,473,350.54)
期首現在純資産額	11,296,785.28
期末現在純資産額	8,984,194.39

■組入有価証券明細 (2014年3月末現在)

	銘柄	国	種類	償還期限	数量	評価価額 (米ドル)	投資比率 (%)
1	TREASURY BILL	米国	国債証券	2014/4/24	6,000,000	5,999,880.00	66.8
2	TREASURY BILL	米国	国債証券	2014/5/8	2,000,000	1,999,952.00	22.3
合計						7,999,832.00	89.0

(注) 上記には、「円建てファンド・オブ・ファンズ専用クラス」以外の資産クラスに帰属する投資資産も含まれます。

<BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の状況>

主要投資対象であるBNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の決算は、年1回（毎年1月）です。以下は直近の決算期末である2015年1月19日現在の状況です。

○1万口当たりの費用明細

（2014年1月18日～2015年1月19日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 3	% 0.033	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.020)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.007)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.005)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合 計	3	0.033	
期中の平均基準価額は、10,016円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

（2015年1月19日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 215,875	千口 231,200	千円 232,194

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年1月19日現在）

<BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド>

下記は、BNYメロン・マネーポートフォリオ・マザーファンド全体(232,198千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	140,000	140,004	60.0	—	—	—	60.0
	(140,000)	(140,004)	(60.0)	(—)	(—)	(—)	(60.0)
合 計	140,000	140,004	60.0	—	—	—	60.0
	(140,000)	(140,004)	(60.0)	(—)	(—)	(—)	(60.0)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切り捨てです。

(注4) —印は組み入れなしです。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	
国債証券	%	千円	千円	
第495回国庫短期証券	—	140,000	140,004	2015/3/2
小 計		140,000	140,004	
合 計		140,000	140,004	

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨てです。